

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		高齢者慶祝事業費[長寿祝金等支給事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	5	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	高齢介護 課 高齢福祉					係	課長名		伊野宮 崇			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	100歳以上の市民 最高齢者 30,000円を支給 百歳以上者 10,000円を支給 →					市内65歳以上の高齢者数(4月1日現在) →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	長寿を祝うとともに、敬老の意を表すことで、高齢者自らの生活意欲の向上と生きがいの増進につなげてもらう。 →					100歳以上の市民 →						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)									
	最高齢者(4月に訪問)及び100歳以上の市民(誕生日またはその翌月に訪問)に祝金を支給し、花束を贈呈している。最高齢者及び新百歳に対しては、市長が表敬訪問している。 →		100歳以上の市民 →									
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	22,350	22,711	22,902						
	成果指標	②の数値	人	36 歳高齢者104	37 最高齢者105	36 最高齢者106						
	目標	②の目標値	人									
	目標値設定の考え方 年度ごとに対象者が決まっているので、目標を設定するにはならない。											
3 経費	活動指標	③の数値	人	36 歳高齢者104	37 最高齢者105	36 最高齢者106						
	事業費(実績)		円	563,600	584,400	577,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	563,600	584,400	577,000						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.10	0.10	0.10						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	1,388,900	1,408,800	1,408,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和50 年度									
	(2) 環境の変化		昭和50年度から88歳以上の市民に対し、敬老金のほか、長寿を祝うため長寿祝金としても、5,000円を追加支給していた。対象者増加により見直しを行い、平成13年度以降は100歳以上を対象としている。									

事業名称	高齢者慶祝事業費[長寿祝金等支給事業]			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし。	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 特になし。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 事業の見直しを行い、令和2年度から対象者を最高齢者と新100歳の市民のみとした。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。	
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 今後も引き続き事業の見直しを検討する必要がある。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし。	